

一般職業紹介状況(平成24年6月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同水準の0.81倍となった。

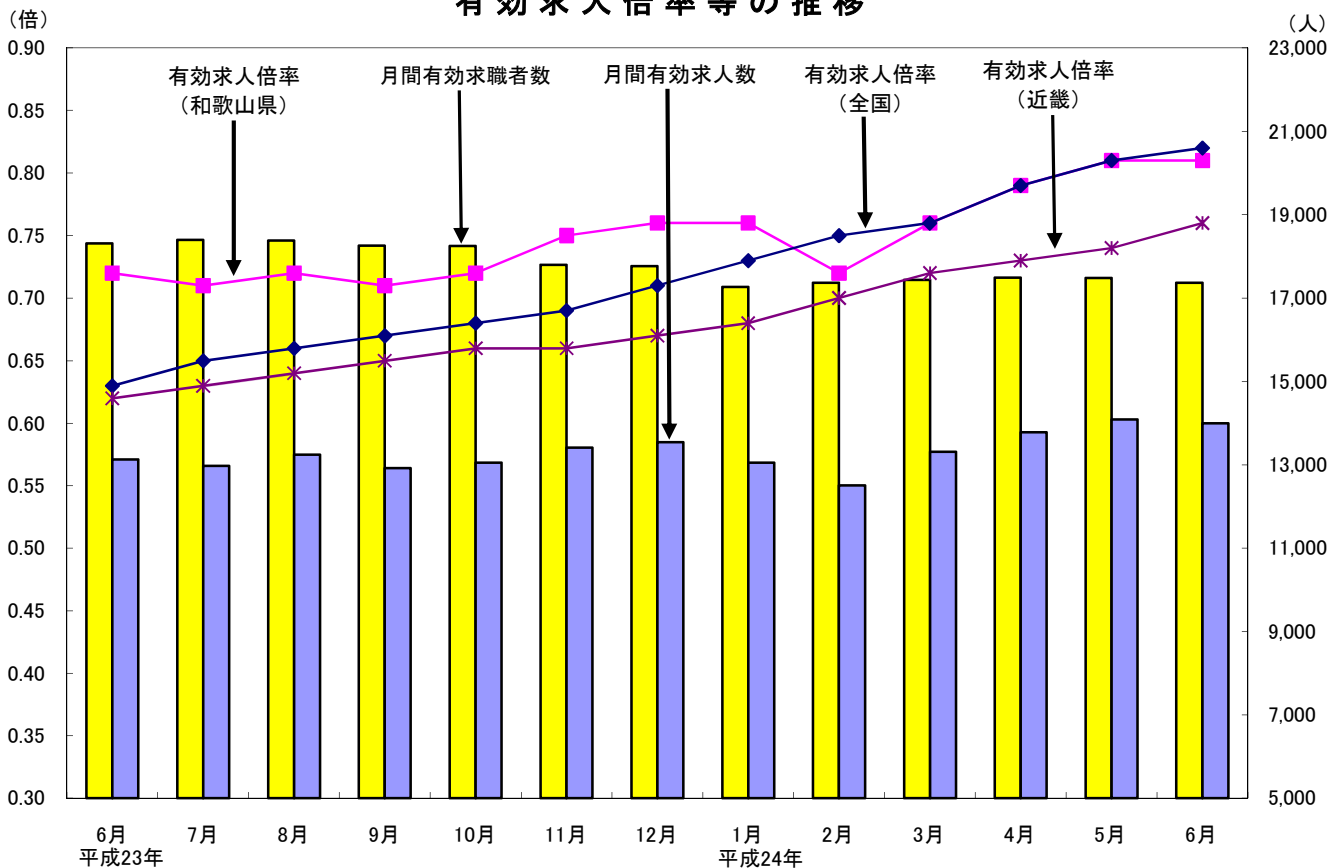
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.82倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.76倍で、前月より0.02ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.19倍で、前月より0.15ポイント低下。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比1.3%減。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比8.5%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より 0.15 ポイント低下の 1.19 倍で、4 か月ぶりに前月を下回った。

全国の新規求人倍率(季節調整値)は 1.32 倍で、前月より 0.03 ポイント低下。

近畿の新規求人倍率(季節調整値)は 1.27 倍で、前月より 0.04 ポイント上昇。

有効求人倍率(季節調整値)は 0.81 倍となり、前月と同水準となった。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より 0.04 ポイント上昇の 0.38 倍で、24 か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 新規求人数(原数値)は 4,958 人で、前年同月比 1.3%減(3 か月ぶり減)となった。

有効求人数(原数値)は 13,295 人で、前年同月比 5.8%増(3 か月連続増)となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、

「医療,福祉」(110 人増)、「運輸業,郵便業」(96 人増)、「情報通信業」(35 人増)などで増加し、「製造業」(136 人減)、「複合サービス事業」(66 人減)、「サービス業」(46 人減)、「学術研究,専門・技術サービス業」(38 人減)などは減少した。

(3) 一般、パート別で新規求人の状況をみると、一般求人数は 2,671 人で前年同月比 4.9%減、パート求人数は 2,287 人で前年同月比 3.3%増となった。

3 求職者の動き

(1) 新規求職者数(原数値)は 4,135 人で、前年同月比 8.5%減(10 か月連続減)となった。

有効求職者数(原数値)は 18,291 人で、前年同月比 6.4%減(15 か月連続減)となった。

(2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は 896 人で前年同月比 2.8%増(2 か月連続増)、離職者は 2,492 人で同 6.6%減(2 か月ぶり減)となり、離職者のうち事業主都合離職は 613 人で同 8.8%減(2 か月連続減)、自己都合離職は 1,705 人で同 4.4%減(2 か月ぶり減)、また、無業者は 674 人で同 24.2%減(7 か月連続減)となった。

(3) 雇用保険の受給者実人員は 4,546 人で、前年同月比 2.4%減(2 か月ぶり減)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は 1,712 人で、前年同月比 8.0%減(3 か月ぶり減)となった。

5 まとめ

求職者数は新規、有効とも前年に比べ連続して減少している。また、新規求人数は 3 か月ぶりに減少となったが、減少幅は大きくないことから、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きもみられる。今後の求人の動向に注意が必要である。